

# たかさご史話 ①

## はじめに

長年の懸案であった市史編さん事業は、昨年4月に市史編さん室を設置し、10月には神戸女子大学教授今井修平氏を委員長とする専門委員5名を委嘱して、これまで2回の委員会を開き、いよいよ本格的にスタートしました。

高砂市は、古くから歴史と伝統のある地域であり、江戸時代には東播磨の中心の港町として、まわりの村々と密接に関係しながら繁栄してきました。

この特色ある高砂市にふさわしい、しかも市民に親しんでもらえる市史の編さんを進めていきます。

市史は、本市が形成された古代から現代までを時代別、分野別に通史編、史料編としてまとめるほか、文化財・民俗などの別編の7巻とし、市制50周年にあたる平成16年度に第五巻を刊行する計画です。

より充実した内容の市史を編さんするため、これからもっと広い範囲での史料調査を精力的に進めていきます。

すでに、資料の提供については、市民の皆様にご協力をいただいておりますが、市史編さん室では、市内に残っている古文書類だけでなく、明治・大正・昭和期の新聞、雑誌、写真などの資料も探していますので、ぜひご協力ください。

今後、このコラムは、市史編さんの過程で見つけた史料の紹介やエピソードなどを掲載することにしていきます。

